# チコ・マルクス

Chico Marx

**生年月日** 1887/03/22
**出身地** アメリカ／ニューヨーク
**没年** 1961/10/11
**関連人物** グルーチョ・マルクス（弟（三男））
ゼッポ・マルクス（弟（五男））
ハーポ・マルクス（弟（次男））

**【バイオグラフィ】**
△ユダヤ系ドイツ移民の子孫。主に1930年代を中心にアナーキーで不条理な笑いを武器に活躍したコメディ・ユニット“マルクス兄弟”の長男。とぼけたナンセンスな会話やピアノを得意とした。貧しさのため、幼い頃より一家でヴォードヴィル劇団を結成して巡業を行う。やがて、舞台で成功を収めたのを機に、弟ハーポ、グルーチョ、ゼッポ（四男のガモは映画に出演せず）とともに映画の世界へ。29年、舞台で評判だった「ココナッツ」の映画化でパラマウントよりスクリーンデビューを果たす。パラマウントとは５本の契約を結び「御冗談でショ」「我輩はカモである」というナンセンス・コメディの傑作を生み出す。しかし、興行的には失敗に終わり、「我輩はカモである」を最後にパラマウントから契約終了を言い渡されてしまう。その後、名プロデューサー、アーヴィング・サルバーグが彼らに声を掛けＭＧＭへと移籍する。この時、ゼッポが脱退、以降“マルクス兄弟”はチコ、ハーポ、グルーチョの３人での活動が始まる。ＭＧＭ移籍第１弾の「マルクス兄弟オペラは踊る」はいきなり大ヒット、批評家からも絶賛される。その後も、「マルクス一番乗り」「マルクスの二挺拳銃」など喜劇の傑作・快作を生み出した。マルクス兄弟の笑いは、同時代よりも後の喜劇人、映画人に計り知れない影響を与えた。ギャンブルにのめり込んでいたチコは映画の成功で大金を稼いだにもかかわらず、いつもお金に困っていたという。そのため、引退したがったハーポとグルーチョを無理やり誘って“マルクス兄弟作品”を作り続けたという。61年10月11日、この世を去った。

**【フィルモグラフィ】**

| | |
|---|---|
| ラヴ・ハッピー（1949） | 出演 |
| マルクス捕物帖（1946） | 出演 ：コルバッチオ |
| マルクス兄弟デパート騒動（1941） | 出演 |
| マルクスの二挺拳銃（1940） | 出演 |
| マルクス兄弟珍サーカス（1939） | 出演 |
| ルーム・サービス（1938） | 出演 |
| マルクス一番乗り（1937） | 出演 |
| マルクス兄弟オペラは踊る（1935） | 出演 |
| 我輩はカモである（1933） | 出演 |
| 御冗談でショ（1932） | 出演 |
| いんちき商売（1931） | 出演 |
| けだもの組合（1930） | 出演 |
| ココナッツ（1929） | 出演 |

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.